

取り組んだ テーマ	『チーム学校の一員として』
----------------------	----------------------

1 達成に向けた手立て

- ・ チーム学校として、SSWの周知の仕方
(教員向けお便りの発行(SSWの役割、SCとSSWの違い、主な相談内容))
- ・ スムーズな連携、役割分担
- ・ 特に気になる子をピックアップして会議で取り上げる
(取り組み情報を共有、次の支援について検討する)
- ・ 関係機関を知ること

2 取組の成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援会議が報告のみの場であったが、支援の方向性を検討できる場になった。 ・ 社会資源の提供 ・ 関係機関同士の連携がスムーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース会議を開く際の教員の時間の確保 ・ ケース会議を開くタイミングの見極め ・ 定期的なケース会議を開くことの難しさ ・ 先生に負担をかけない連携の仕方 ・ 緊急性のない情報共有については共有サーバー上のファイルを利用する。(養護教諭を窓口)

3 次年度に向けて

- ・ 学校の規模に合わせた連携の仕方(共有情報シートの活用)
- ・ 気になる生徒をピックアップして早めの支援
- ・ 義務教育終了後の継続した支援につながるような体制を作ること